

## 會 告 (I)

### 塑性加工専門講演会講演募集

本年も例年の通り日本鉄鋼協会外5学協会共催の下に塑性加工専門講演会を開催いたします。講演御希望の方は下記要領により御申込下さい。

- 開 催 日 昭和 32 年 11 月 28, 29 日  
 開 催 地 東京都立工業奨励館 (港区芝海岸通り 国電浜松町下車, 海岸方面へ徒歩 7 分)  
 参 加 団 体 高分子学会, 精機学会, 日本金属学会, 塑性加工研究会, 日本鉄鋼協会, 日本機械学会  
 講演申込締切 昭和 32 年 9 月 30 日着信  
 講演申込先 日本鉄鋼協会外参加学協会  
 前刷原稿締切 昭和 32 年 10 月 25 日着信  
 申 込 方 法 申込用紙は随意ですが, 「塑性加工専門講演会申込書」と題記し, 講演題目, 梗概, 所要時間, 幻燈の要否, 講演者ならびに連名者の氏名, 勤務先, 通信先, 所属学会会員資格を記すること。  
 前刷について 前刷は昨年と同様オフセット印刷を予定しておりますが, 講演申込者には日本機械学会より改めて前刷用原稿の御執筆をお願いいたし, 原稿用紙も同会よりお送りいたします。

### 会 員 名 簿 発 行 に つ い て

かねて準備中の本会会員名簿は来る 9 月改版発行いたすことになりました。会員各位にて右会員名簿御入用の場合は添付の振替用紙により, 予め御申込の上, 印刷経費および送料等の実費の一部として金 200 円御払込下さいますようお願いいたします。

発行と同時に直ちに御送付申し上げることに予め印刷部数の準備をいたします。会員名簿は, 当分隔年発行いたす予定でありますので, この機会に洩れなく御申込下され, 本会の事業に御協力下さいますよう御案内少々お願いいたします。

### 「鉄鋼の使い方」頒布について

本会が去る 6 月 13 日から 15 日まで 3 日間東京都立工業奨励館講堂において開催した「鉄鋼の使い方」講習会は鉄鋼の使用者に参考となる点が多かったことと思います。同講習会のテキストとしてパンフレット「鉄鋼の使い方」を印刷しましたが, なお多少残部がありますので御希望の方に実費頒布いたします。タイプ印刷, B 5 判, 160 ページ 1 部 500 円(送料とも)であります。

- 主要目次は次の通りです
- |                    |              |
|--------------------|--------------|
| 1. 鉄鉄の用途による選び方     | 4. 鉄鋼の防蝕法    |
| 2. 普通鋼材の使い方        | 5. 鋼材の加工法    |
| (1) 鋼の一般的性質と型鋼の使い方 | (1) 溶 接      |
| (2) 鋼管の使い方         | (2) プ レ ス    |
| (3) 鋼板の使い方         | (3) 熱処理と表面硬化 |
| 3. 鋼材の軽量化ならびに新しい用途 |              |

### ジャパン・サイエンス・レビュー

#### 採鉱・冶金篇第 1 巻第 1 号発行について

(The Japan Science Review: Mining and Metallurgy Vol., No. 1)

さきに文部省大学学術局の斡旋により, ジャパン・サイエンス・レビュー採鉱・冶金篇 (英文) を, 日本鉄鋼協会, 日本金属学会, 日本鉱業会, 日本鑄物協会, 熔接学会, 軽金属協会, 金属表面技術協会の関係 7 学協会連合にて出版に着手し, この程第 1 巻第 1 号 (1955 年 10 月から 1956 年 3 月迄の 6 カ月分) を発行致しました (B 5 判 200 頁)。これは上記学協会の会誌, 会社刊行誌, 公私の科学技術研究所および大学等の研究報告のタイトルとアブストラクトをでき得る限り漏れなく収録し, かつ金属部門最近の活動状況の展望記事をも掲げてあります。本書はいうまでもなく, 諸外国に対する本邦技術の紹介と交流とを目的とするものでありますが, 非常によくまとまっていますので会員各位には御参考に資するところすくなくないと思われまふ。御希望の方には会員に限り原価 300 円 (外に送料 40 円) で御頒ち致します。協会へ御申越し下さい。なお第 1 巻第 2 号 (1956 年 4 月から 1956 年 12 月まで 9 カ月分) は本年 10 月, 第 2 巻第 1 号 (1957 年 1 月から 1957 年 6 月まで) は明年 3 月発行の予定であります。